

「非該当」(家族が被扶養者でなくなったとき)の 記入例

被扶養者の非該当・変更の場合は、資格確認書および被保険者証の添付が必要です(発行されている場合のみ)。添付できない場合は、『資格確認書回収不能届』または『被保険者証回収不能届』を添付してください。

様式コード 2 2 0 2	協会等事業所用 健康保険 国民年金	被扶養者(異動)届 第3号被保険者関係届	受付印
1 令和 7 年 6 月 5 日提出	2 整理記号 00-ケイト	3 届出記入の個人番号(基礎年金番号)に誤りがないことを確認しました。 〒168-8500 東京都杉並区高杉戸3-2-1	厚生年金被保険者の配偶者にかかる届出の記載がある場合、同時に『国民年金第3号被保険者関係届』として受理し、配偶者を第3号被保険者に、第2号被保険者を配偶者として読み替えます。
事業主 事業主 氏名 代表取締役社長 健保良一	事業主 住所 〒168-8500 東京都杉並区高杉戸3-2-1	事業主 電話番号 03 (5437) 6780	社会保険労務士記載欄 氏名等
事業主が保証した場合に○で囲んでください。	1. 確認 収入に関する証明の添付が省略されている者は、所得控除の除外対象配偶者・扶養親族であることを確認しました。	事業主等受付年月日 4 令和 7 年 6 月 2 日	
A 被保険者欄	1 被保険者整理番号 10	2 氏名 年金 一郎	3 生年月日 令和 7 年 6 月 1 日 性別 男
	4 取得年月日 令和 7 年 6 月 1 日	5 収入(年収) 4,500,000	6 個人番号(基礎年金番号) 123450123456
※事業主が、認定を受ける方の続柄と表裏(イ)の欄で確認した場合は、ロ欄⑧(又はロ欄⑨)の「資格確認書添付」の口を○で囲んでください。(届付書類については裏面(裏)参照) 別居者が被扶養者(第2号被保険者)になった場合は「該当」、被扶養者でなくなった場合は「非該当」、変更の場合は「変更」を○で囲んでください。			
B 配偶者(第3号被扶養者)欄	1 氏名 年金 花子	2 住所 東京都杉並区高杉戸1-1-1	3 生年月日 令和 7 年 6 月 2 日 性別 女
	4 職業 専業主婦	5 収入(年収) 0	6 個人番号(基礎年金番号) 123456012345
	7 被扶養者になった日 令和 7 年 6 月 1 日	8 理由 1. 死亡(令和 7 年 4 月 7 日) 2. 離婚(収入増加) 3. 障害認定	9 備考 ※ 資格確認書 発行要否
⑩ 被扶養者でない配偶者を有するときに記入してください。 配偶者の収入(年収) 円			
C その他の被扶養者欄	1 氏名	2 住所	3 生年月日 性別 続柄
	4 職業	5 収入(年収)	6 個人番号
	7 被扶養者になった日	8 理由	9 備考 ※ 資格確認書 発行要否
※被扶養者の「該当」と「非該当(変更)」は同時に提出できません。「該当」、「非該当」、「変更」はそれぞれ別の用紙で提出してください。			
扶養に関する申立書(添付書類の内容について補足する事項がある場合に記入してください)			
申立の事実には相違ありません。 氏名			

- 届書提出日を記入してください。
- 事業所整理記号、「A. 被保険者欄」の「①被保険者整理番号」は必ず記入してください。
- 事業所所在地等、事業所情報を正しく記入してください。
- 事業主が被保険者を通じて被扶養者から届書を受け取った日を記入してください。
- 被保険者がこの届書を事業主へ提出した日を記入してください。
- 被扶養者でなくなった日を記入してください。
 - ・就職の場合は就職年月日
 - ・離婚の場合は離婚年月日
 - ・死亡の場合は死亡日の翌日
 - ・後期高齢者医療の被保険者となった場合は被保険者となった日
- 被扶養者でなくなった理由を○で囲んでください。